

連携医療機関各位

下肢静脈瘤・血管内高周波焼灼術を開始

RFA治療、Radio Frequency Ablation

～ 心臓血管外科にご紹介ください～

下肢静脈瘤は身近な病気であり、国民のおよそ9%、約1,000万人以上、出産経験のある成人女性の2人に1人に発症します。しかし、両毛地区では積極的な手術治療が行われていない現状があります。当院は4月に実施施設の認定を受け、遠方の病院に患者様をご紹介いただかなくても、当院で最新の治療を受けることができます。

下肢静脈瘤の症状

- ◎ 足がむくみ
- ◎ 足がつる（こむら返り）
- ◎ 足の痛みなど

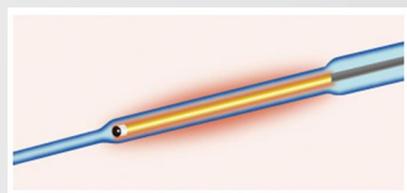


上記の症状がある場合にはご紹介ください

- ・ 当院で行う**血管内高周波焼灼術治療**は、ストリッピング手術のように静脈を引き抜くかわりに、局所麻酔下で細い管を静脈内に挿入し、内側から高周波により静脈瘤を焼いてふさぐ低侵襲治療です。焼いた静脈は、治療後半年ぐらいで吸収されてなくなりますので、キズが目立ちません。

【長所】

- ・ 低侵襲治療：穿刺のみで切開を必要としない
- ・ 短時間の処置で、1泊2日～2泊3日の入院治療
- ・ 美容的に優れる：キズが目立ちません



担当：心臓血管外科：木曜日午後外来 担当医師：榎澤 壮樹

【紹介方法】

- ・ 地域医療連携室にご連絡いただき、心臓血管外科の予約取得となります
- ・ 診療情報提供書をご記載をお願いいたします
- ・ 患者様からの直接予約は原則受け付けておりません